

オノ節 大阪府衛生会庁官診療所

51. 設立

昭和36年8月1日のオノ次巻々崎暴動事件を契機に、

36年10月2日から地区労務者の治療を対象として、衛生会庁官診療所夜間診療開始。地区の公的診療機関として

は唯一のもの。 社会福祉法人 恩賜財団 衛生会 経営

大阪市西成区甲岸町12

大阪市立愛隣会館付設あいのこ保育園(愛隣会経営)

1階に開設。

わかさ保育園(石井記念愛染園経営)

昭和36.10.2 ~ 47.1.31 (廃止)

今官診療所長 本田 良寛

53.1.4~

(1949 大阪市立医学専門学校卒、自宅開業)

○ 新長をMせうけた条件

1) 本田個人で行くのではなく、市大医学部の推薦に

よっていくこと

2) 単なるおぜなりの診療活動だけでなく公衆衛生活動も

も含めた調査研究を並行させること。この裏は、学

に大学の計画に従って行う。 → 大阪市社会医学  
研究会

事務室一 診療所二階



3) 従来ややもすれば、社会福祉に関係する人々は、社会奉仕の美名のもとに低い報酬を押しつけられる傾向があるが、今回は当然の要求する条件を保障すること

4) 診療所における医療活動は、すべて本田に一任し、必要なる人員及び物品、資材は要求どおり提供すること

5) 重要な話合いはかならず大学をまじえて、三者の責任者の間で話し合うこと。

(いっげん 釜ヶ崎診療所より)

診療時間 AM 9:30 ~ 12  
PM 6:00 ~ 9

人 員	午前	医師(所長、阪大の市大) 2人 看護婦 2人 事務 2人 レントゲン技師 1人	}	7
	夜	医師(市大、阪大) 2人 看護婦 2人 事務 1人		

診療科目 内、外科中心

「地区の医療を消生会会館診療所に委託、市が建物を提供し、府が労務行政の一環として医療費の赤字分を補助」



系又 大阪市社会医学研究会

昭和34年(月)ノ日、有志が大阪市西成区ノ環境改善地区  
(愛隣地区、通称釜ヶ崎)ノ社会医学的特徴を調査し、研  
究すると共に實際活動を通じて、火ッて地区住民ノ福祉に  
貢献することを目的として、大阪市社会医学研究会を設立  
し、大阪市西成区甲岸町10 大阪市立愛隣図書館付設みどり  
心保育園内に研究会を設置した。

又ニバ一

- 本田良寛 済生会今宮診療所々長
- 堀内一彌 大阪市立大学医学部教授
- 大和田国夫 ”
- 助川 義寛 ”
- 大藪 春一 大阪市立大学文学部助教授
- 関 悦四郎 大阪市立大学医学部教授
- ××××× 大阪市西成保健所長



# 63 医療実態

## 1. 病院患者数

年	37	38	39	40	41	42	43	44
人								
数	14,198	26,245	32,506	39,894	36,889	31,354	36,553	23,981

注) 44年は大学紛争による医師の3/5以上不足による減

## 2. 治療金額

年	治療総金額 円	収入総金額 円	未収総金額 円
37	3,354,770	2,562,629	792,141
38	7,751,960	5,024,096	2,727,864
39	14,115,422	8,226,123	5,889,319
40	17,911,315	9,704,243	8,207,072
41	19,959,058	9,180,862	10,778,206
42	22,007,432	9,783,830	12,223,602
43	22,664,347	10,230,011	12,434,336
44	11,586,107	8,127,447	3,458,660

年	治療総金額 円	収入総金額 円	未収総金額 円
37	100.995.631	60.270.781	62.716.850
44	100%	49.0%	41.0%